

---

# 意味があるもの

糸雨 冷

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

意味があるもの

### 【Nコード】

N1734BA

### 【作者名】

糸雨 冷

### 【あらすじ】

意味を問うてみても俺にはわからなかった

例えばそれに意味があるとして。  
例えばそれに意味がないとして。

それがはつきりしたとき俺はいつたいていどうするんだろう。

パタパタと軽い足音が聞こえる。  
こちらに向かっていることがわかり、俺の意識は柔らかな眠りから  
ゆっくりと浮上する。

だけど、まだ起きない。  
もう少しだけ、優しい夢にひたっていたい。

「お父さーん、朝だよー？」

パタパタという足音と共に走ってきたミズキはスパンと音をたてて

襖を開け、布団の中にいる俺に体当たりを食らわせる。

なんだか年々ミズキが彼女に似てきてる気がしてならない。

それは喜ぶべきことなのか、それとも俺の扱いが悪くなってきた  
ると嘆くべきことなのか。

ともかく俺は最愛の愛娘の手によって、最愛の彼女と一緒にいら  
れる唯一の場所を奪い取られた。

いや、別に気にしませんよ。

俺、父親ですし、それくらい我慢しますよ。

そんな寝ぼけた頭のまま体を起こすと俺の体の上に座り込んでた  
ミズキと目が合う。

「おはよう！お父さん。」

君のいない一日を、俺は今日も君の娘と過ごす。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1734ba/>

---

意味があるもの

2012年1月4日12時45分発行